

R4.2 月 ピアサポ アンケート

生の声の大切さをとても感じました。少数派であるがために伝わらないこと、多数派にとっては気付かない無意識のことを、訴えても響かない現状を知り、抽象的な言葉では伝わりにくく、具体的に生の声で響かせることが大切と思いました。

理想を語るだけでなく、「伝わらない相手に、どうすれば？」までよかったと思います。

小さな事でも、疑問に思う事は声に出していく事が大事なんだと思いました！！

先生との対話、子どもたちとの対話、面白かったです。「少数派」「多数派」この境目というか見極めが難しいなと思ったので、先生に聞きたかったです。この子はいいいけど、この子はダメ。みんないいにならないと難しいなと。

β 先生として参加しましたが、一部聞き誤りもあったことで、トンチンカンな発言もあったかと思いますが、対学校で苦戦している子どもや保護者に対して、学校ができることは少なくないと思います。個別に関わる機会があれば、味方になり、通訳にもなり、お母さんや本人さんの笑顔が増やせればよいと思います。この会が長く続いていることに敬意を表し、参加させていただいたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。

学校の先生によって子供への対応の仕方が変わるとわかりました。今は伝えても対応してくれない
と思うことばかりで気が重かったのですが、いつか理解してくれる先生が現れてくれると信じて、
伝えることは必要だと思いました。勉強になりました。ありがとうございました。

日本の特別支援教育における問題点を改めて考えさせられました。小中高の特支学級（通級を含む）
が、リソースルーム形式になっておらず、担当者の専門性が保障されていない点は、欧米はもちろ
ん、台湾や韓国とも大きくちがうところですよ。リソースルームティーチャーが確保されていると、
今回話題になった学校内のさまざまなトラブルは、かなり予防できます。

9月に繋がった会で学校の話（内情）もよくわかった。本来この彼等の思いを理解してほしい方（教
員）に聞いて欲しい内容ではあるが…。成人になったその時の話、今考えて悩んでいる話、大井先生
が話されていたように保育の現場でもあること。何故、目の前の子どもたちの姿がわからず、大人
の思いが先行するのか？少しずつ地道に伝えていくことしかできないが、やっていくしかないのだ
と感じた。ありがとうございました。

今回は親、子、教育現場と各立場からのお話、事例をうかがい前回に引きつづき、さらに色々なパタ
ーンの出来事、実情を知ることができました。我が家も、春から少し環境が変わります。是非、言葉
に出しつつ、それが1人でも、声として拾っていただけるよう続けていきたいと思います。貴重
なお話をありがとうございました。

来年小学校で、支援級に上がる息子がいます。今後、いろんな悩みも出るだろうな…と思い、何か情報や勉強できることがあればと思い参加させて頂きました。“先生が忙しい”というのはニュース等見ていても感じていたので、何かあっても言いにくいなと思っていましたが、「食い下がって頼んで良い。ほとんどのことはできる」と聞いて、少し安心しました。最後の K くんの話していた、悪意のない攻撃、無意識の差別は、今現在でも親でも感じることもあり、今後息子自身もそれを感じる場面があるかもしれないな…と思いましたが、このような場があることで、孤立することをなく、相談していけることがありがたいなと思いました。また参加させて頂きたいです。本日はありがとうございました。

やっぱり学校にいかなくてよかった。学校のむじゅん、人間関係、いろいろにがんじがらめになってしがらみばかり、プレッシャーや愛情。シンプルに生きた方がよい。長らくこういうお話から遠ざかっていましたが久々にお話聞かせて頂き、自分の日々にまた活かしていきたいと思いました。

（下記は聞きたかった事）

Z さん、X さん…お子さんに学校に（出来れば）行ってほしいと思いますか？

B さん、K さん…不登校な時があっても全然 OK ってやはり思いますか？

a さん、β さん…合理的配慮として可能かどうかの質問ですが、

たとえば書くのが苦手という子に対して、タブレットで画像を撮影する事を希望された時（普通級で）それは可能ですか？

もし可能だったとしてそれを他の子が「ずるーい、あいつだけ」と言ってきたら何と答えますか？

学校の「みんないっしょに」という感覚は、本当に解決しなければならない問題だと思います。

法律ができたのにも関わらず、中・高校ではまだまだ理解が深まっていません。特に、ベテランの先

生だと変な自信をもつようになってしまい、親の意見をなかなかきいてくれません。

先生に嫌われないようにしながら、自分のことを主張するのはとても難しいことです。

早急に学校改革をしなければいけないと思います。

子ども・親・先生の立場からのお話を聞けるなんて、最高におとくな会でした。a先生みたいな先生

って、めずらしくて貴重だと思いました。「子どもが、やりたいことを安心してやれる場所は？」と

いう質問が、親の立場の最初にしゃべった方から出ていましたが、私もさがしている最中です。「親

の愛は、子どもにはあんまり伝わらないと思って、はらをくくってやっていく」とか、「感覚までみ

んなに合わせるのはナンセンス」とか、「遠足や合宿は個別対応しやすい」とかは、今日聞けて良か

ったです！

今日のお話を教育現場にいらっしゃる先生方に聞いていただく機会が増えてほしいと思いました。

子供も、親も自分の想いを伝えていく、伝え続ける勇気を持つ事が必要だと実感しました。子供の

立場、先生の立場のお話を聞けて良かったです。ありがとうございました。

今回もコロナ禍にもかかわらず、ピアサポートを開催していただきありがとうございました。今日

のように、立場の違う人達（親・子・先生）の対話形式のスタイルは新鮮でした。先生の立場で話し

づらい、言いづらい事もあったかと思いますが、話せる範囲で本音？を語って下さったのが興味深かったです。違った立場の方の本音、気持ちの話しをお聞きでき、それぞれの想いが少しでも理解できる時間になったかなと思いました。